

ダムカード紹介 【百間川水門(昭和水門)】



おもて

DAM (FLOODGATE) - DATA

所在地: 左岸/岡山市中区百間川地先
右岸/岡山市中区百間川地先

河川名: 旭川水系百間川

型式・規模: 型式 可動堰
総延長 138m
可動部分 120m

ゲート: シェル構造ローラゲート×6門
扉高 6.0m

管理者: 国土交通省

本体着工/完成年度: 1963/1967年

詳しいデータはこちら→<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

旭川のシンボルマーク

ランダム情報 サンプル

百間川は、江戸時代に岡山藩の津田永忠により、岡山城下の洪水被害軽減と新田開発を両立させるため、葦手と堤を備えた放水路として整備されました。河口部では、農業排水と防溜のための石堰(当時の河口排水堰門)が設置され、改修を重ね現在に至ります。

こだわり技術

2つある河口水門のうち西側水門は、明治時代までに設置された6堰門に代わる水門として設置されました。1700年頃に設置された堰門は石を組み上げた補造でしたが、昭和43年に完成した水門は、鋼製の引上げ式ローラゲートを扉体型式として採用しています。河口に位置する本箇所は超軟弱地盤で、長さ27mの鋼管杭534本、コンクリート杭841本により基礎を施工しています。

【旧百間川河口水門平面図】

【改元された江戸時代の堰門】

うら

※バージョン更新等により、
現在配布しているカードと内容が異なる場合があります。